



10月27日（金）実施の東中祭はこれまでにない参加人数になりそうです。事前調査で250名を超えています。

東中の体育館も大喜び、と言いたいところですが、会場の収容人数の問題、駐車場の問題など様々な問題が予想され、うれしい悲鳴状態です。

現在、教職員で話し合いを重ねていますが、まだ結論が出せません。前日にメールで発信する予定です。

コロナ前（4年前）は参観者は立ち見だったようです。昨年度は保護者席として椅子を用意したものの立ち見も多く出ました。しかし、参加人数は多くありませんでした。

約58年前に建てられた体育館は、残念ながら近隣の小学校よりも面積が狭く、部活動では、バレーやバスケットなどが、正規のコートとして半面ずつを取ることもしない広さです。

生徒は椅子を使わず床に座るとして、保護者用のいすを準備できるのは150が精いっぱいです。それもビデオ席などを準備しない状態になります。

おまけに現在近隣の小中学校ではインフルエンザによる学級閉鎖を複数の学校がしている状態です。合唱コンを延期している中学校もあります。本校も少し欠席者が増えてきました。喚起に気を付けるとともに、生徒には手洗い、うがいの励行や、マスク着用を推奨しています。

駐車場も入りきらないことが予想されるため、野球のグラウンドもマウンド以外は使用することに決めました。好天になることを祈るばかりです。

そんな状態ではありますが、生徒は心を込めて合唱練習をしています。午前中は総合的な学習で学んだことの発表や英語のスピーチコンテスト出場者のスピーチも行います。午後からは生徒会タイムを中心に中学生のパフォーマンスが繰り広げられます。

届け、歌声。

届け、熱き青春のきらめき。

